

# 令和2年度 山形県病院事業会計決算の概要 【経常収支は9億6,000万円の黒字】

令和3年7月  
病院事業局

## 1 病院事業合計

### (1) 入院及び外来の概況

		令和2年度	
			前年度比
入院収益	a	19,437	▲2,177
入院患者延数	b	344,621人	▲54,421人
入院診療単価	a/b	56,401円	2,236円
平均在院日数		15.2日	0.4日
病床利用率		74.2%	▲7.8p
外来収益	c	8,326	▲693
外来患者延数	d	494,975人	▲75,390人
外来診療単価	c/d	16,821円	1,008円

### (2) 損益の概況

		令和2年度	
			前年度比
総収益	A	41,240	1,150
経常収益	B	39,978	266
医業収益	C	28,430	▲3,059
医業外収益		11,548	3,325
(うち新型コロナ補助金)		(3,629)	(3,608)
特別利益		1,262	884
総費用	D	39,668	▲531
経常費用	E	39,018	▲1,138
医業費用	F	37,256	▲1,133
医業外費用		1,762	▲5
特別損失		650	607
医業収支	C-F	▲8,826	▲1,926
総収支	A-D	1,572	1,681
経常収支	B-E	960	1,404

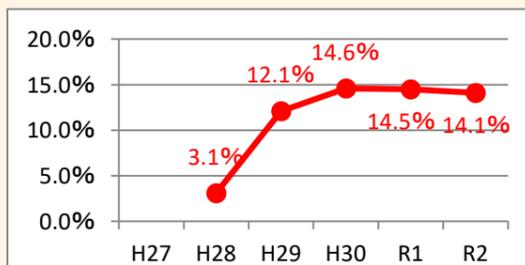
### (参考①)新型コロナウイルス感染症(新型コロナ)にかかる補助金等の受入状況

	金額
医業外収益(病床確保料等にかかる補助金)	3,629
特別利益(慰労金にかかる補助金等)	577
資本的収入(設備整備にかかる補助金)	340
計	4,546
(※ 特別減収対策企業債)	(150)

### (参考②) 資金不足比率の推移

病院事業会計は、平成28年度から資金不足が生じ、平成29年度には資金不足比率が10%を超えたため、「資金不足等解消計画」を策定し、経営改善に取り組んでいる。

令和2年度の資金不足比率は、14.1%となった。



## 2 中央病院 【経常収支は16億5,800万円の黒字】

### (1) 新型コロナ対応のための主な取組

- 新型コロナ専用病床を最大47床(うち重症者用8床)を確保(※看護体制確保のため、一部の病床を休床)
- 新型コロナ感染症外来の設置
- 人間ドックの受入一時休止

### (2) 入院及び外来の概況

		令和2年度	
			前年度比
入院収益	a	12,002	▲1,691
入院患者延数	b	146,611人	▲38,624人
入院診療単価	a/b	81,864円	7,943円
平均在院日数		10.3日	▲0.3日
病床利用率		67.6%	▲17.6p
外来収益	c	5,137	▲418
外来患者延数	d	237,136人	▲34,474人
外来診療単価	c/d	21,665円	1,209円

### (4) 令和2年度の主な設備投資

- 患者サポートセンター整備等(55)  
※ 令和元年度からの繰越分含む
- 医療機器等の整備(417)  
(情報通信ネットワーク機器更新(79)等)
- 新型コロナにかかる医療機器等(282)  
(体外式膜型人工肺(ECMO) 1台(10)、人工呼吸器 7台(46)等)

### (3) 経常収支の概況

		令和2年度	
			前年度比
医業収益	A	17,535	▲2,253
医業外収益	B	7,301	2,800
(うち新型コロナ補助金)		(2,940)	(2,919)
医業費用	C	21,932	▲629
医業外費用	D	1,246	▲26
医業収支	A-C	▲4,397	▲1,624
経常収支(A+B)-(C+D)		1,658	1,202

### 《主な増減要因》

- 医業収益 [▲2,253]  
・新型コロナ対応や受診控え等による入院及び外来収益の減 [入院：▲1,691、外来：▲418]
- 医業外収益 [+2,800]  
・新型コロナ補助金の受入れ [+2,919]  
※うち病床確保料(R1:21→R2:2,661)
- 医業費用 [▲629]  
・患者延数の減等による材料費の減 [▲619]  
・時間外手当の減等による給与費の減 [▲84]  
・受付業務委託の増等による経費の増 [+77]

## 4 河北病院 【経常収支は6億4,800万円の赤字】

### (1) 新型コロナ対応のための主な取組

- 新型コロナ感染症外来の設置
- 山形県PCR自主検査センターの設置等  
※令和3年4月、新たに新型コロナ専用病床を6床確保

### (2) 入院及び外来の概況

		令和2年度	
			前年度比
入院収益	a	1,247	▲103
入院患者延数	b	30,423人	▲3,784人
入院診療単価	a/b	40,985円	1,514円
平均在院日数		16.6日	0.6日
病床利用率		66.9%	7.0p
外来収益	c	770	▲165
外来患者延数	d	64,634人	▲18,853人
外来診療単価	c/d	11,914円	717円

### (4) 令和2年度の主な設備投資

- 医療機器等の整備(50)  
(腹腔鏡手術システムモニター等更新(21)等)
- 新型コロナにかかる医療機器等(14)  
(PCR検査装置 2台(5)等)

### (3) 経常収支の概況

		令和2年度	
			前年度比
医業収益	A	2,054	▲282
医業外収益	B	1,118	87
(うち新型コロナ補助金)		(58)	(58)
医業費用	C	3,694	▲331
医業外費用	D	126	8
医業収支	A-C	▲1,640	49
経常収支(A+B)-(C+D)		▲648	128

### 《主な増減要因》

- 医業収益 [▲282]  
・受診控え及び医師数の減等による入院及び外来収益の減 [入院：▲103、外来：▲165]
- 医業外収益 [+87]  
・新型コロナ補助金の受入れ [+58]
- 医業費用 [▲331]  
・病棟再編(R2.4月～156床→130床)に伴う職員数の減等による給与費の減 [▲225]  
・患者延数の減等による材料費の減 [▲51]  
・建物(S56取得)等の減価償却費の減 [▲37]

## 3 新庄病院 【経常収支は2億2,300万円の黒字】

### (1) 新型コロナ対応のための主な取組

- 新型コロナ専用病床を最大7床確保(※看護体制確保のため、一部の病床を休床。令和3年4月に、更に+2床)
- 新型コロナ感染症外来の設置

### (2) 入院及び外来の概況

		令和2年度	
			前年度比
入院収益	a	4,436	▲451
入院患者延数	b	94,262人	▲13,936人
入院診療単価	a/b	47,064円	1,892円
平均在院日数		14.7日	▲0.3日
病床利用率		75.7%	▲4.8p
外来収益	c	2,143	▲73
外来患者延数	d	161,733人	▲19,669人
外来診療単価	c/d	13,249円	1,032円

### (4) 令和2年度の主な設備投資

- 改築整備事業(353)(基本・実施設計(192)、敷地造成第1期(96)等)
- 医療機器等の整備(261)  
(全身用血管造影装置更新(164)等)
- 新型コロナにかかる医療機器等(54)  
(人工呼吸器 2台(13)、簡易陰圧装置 2台(8)等)

### (3) 経常収支の概況

		令和2年度	
			前年度比
医業収益	A	6,801	▲555
医業外収益	B	1,977	618
(うち新型コロナ補助金)		(572)	(572)
医業費用	C	8,284	▲241
医業外費用	D	271	15
医業収支	A-C	▲1,483	▲314
経常収支(A+B)-(C+D)		223	289

### 《主な増減要因》

- 医業収益 [▲555]  
・新型コロナ対応や受診控え等による入院及び外来収益の減 [入院：▲451、外来：▲73]
- 医業外収益 [+618]  
・新型コロナ補助金の受入れ [+572]  
※うち病床確保料(R1:0→R2:473)
- 医業費用 [▲241]  
・病棟再編(R1.11月～388床→343床)に伴う職員数の減等による給与費の減 [▲274]  
・患者延数の減等による材料費の減 [▲79]  
・総合医療情報システムの減価償却開始に伴う減価償却費の増 [+119]

## 5 こころの医療センター 【経常収支は1,100万円の黒字】

### (1) 新型コロナ対応のための主な取組

- 電話による外来診療の促進
- デイケアの一時休止
- 訪問看護の一時休止

### (2) 入院及び外来の概況

		令和2年度	
			前年度比
入院収益	a	1,752	68
入院患者延数	b	73,325人	1,923人
入院診療単価	a/b	23,890円	312円
平均在院日数		147.7日	16.8日
病床利用率		94.3%	2.7p
外来収益	c	276	▲37
外来患者延数	d	31,472人	▲2,394人
外来診療単価	c/d	8,759円	▲467円

### (4) 令和2年度の主な設備投資

- 医療機器等の整備(10)  
(医療観察法診察支援システム更新(4)等)
- 新型コロナにかかる医療機器等(8)  
(抗原検査装置 1台(6)等)

### (3) 経常収支の概況

		令和2年度	
			前年度比
医業収益	A	2,040	31
医業外収益	B	1,133	39
(うち新型コロナ補助金)		(59)	(59)
医業費用	C	3,048	58
医業外費用	D	114	2
医業収支	A-C	▲1,008	▲27
経常収支(A+B)-(C+D)		11	10

### 《主な増減要因》

- 医業収益 [+31]  
・平均在院日数の増等による入院収益の増 [+68]
- 医業外収益 [+39]  
・新型コロナ対応等による外来収益の減 [▲37]
- 医業外収益 [+39]  
・新型コロナ補助金の受入れ [+59]
- 医業費用 [+58]  
・退職給付費の増等による給与費の増 [+59]